

東芝浴室換気乾燥機取付説明書

販売店・各種工事店さま用

形名
(局所換気タイプ)DVB-18S₂

(24時間換気タイプ)

バスドライ

日本国内専用品
Use only in Japan

この浴室換気乾燥機の注意事項をよく知りたい場合、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をお読みください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。

(本製品は(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

本説明書は浴室換気乾燥機の取り付けと連関工事(建設工事)である大工事、電気工事、配管工事などを区別して説明しています。
建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。流通業者(販売店)を通して浴室換気乾燥機の取り付けを行なう場合は、建設工事部分と区別して行ってください。
この取付説明書は設置完了後、別冊の取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

特定保守製品に関するお願い

本製品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。

特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして法令で定めるもの」です。

付属の取扱説明書と所有者票(黄色ラベルが貼り付けあるビニール袋に入っています)は、所有者(消費者、賃貸業者)に必ずお渡しください。
消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示の意味

表示	図記号の意味
警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定される内容*を示します。
注意	*取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定される内容*を示します。

*1重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものとします。

*2傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが、やけど、感電などをさします。

*3物的損害とは、家屋・家具および家電・ベット等にかかる拡大損害をさします。

図記号の説明

表示	図記号の意味
禁止	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
指示	●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

取扱説明完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取扱説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

改造禁止	改造はしない! 火災・感電・けがの原因になります。
給気を確実に	煙突排気の燃焼器具がある住戸に据え付けるときは、十分大きな空気取入口を別につける排ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
接触注意	メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造営物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接觸しないよう取り付けける漏電したとき、火災・感電の原因になります。
取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
交流100V使用	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
水かけ禁止	本体各部やリモコンに水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により火災・感電の原因になります。
分解・修理禁止	修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理()しない 火災・感電・けがの原因になります。 修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
アース接続	アースは確実に取り付け、漏電遮断器を設ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
接続禁止	SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない 火災・感電の原因になります。
取付注意	取り付け・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 取付工事が不完全なときは、火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

注意

電気工事士が実施	電気工事・アース工事は電気工事士()が行う 電気工事士以外の人間が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。
確実に取り付ける	本体は、十分に強度のあるところに確実に取り付ける 落としによりけがの原因になります。
取付禁止	リモコンを取り付けない 感電や故障の原因になります。
ブレーカーを切る	取り付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。
手袋着用	製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
確実に行う	電源線の接続は電気設備技術基準や内線規程に従って、安全・確実に行う 電源線の接続は機械的な方法で確実に接続する 接続不良や誤った配線工事は火災や感電の原因になります。
接觸禁止	炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
確実に取り付ける	本体カバー部品は、確実に取り付ける 落としによりけがの原因になります。
確実に行う	電源線は専用の分岐ブレーカー(20A)により接続する 他の機器と併用した場合、電源電線が発熱し火災の原因になります。
接觸禁止	ファンヒーターに触れたり、指や物を入れない 感電・けが・やけどの原因になります。

取付上のお願い

故障の原因になりますので、次のような場所には取り付けないでください。

- 高温(40以上)になる場所
- 台所など油煙の発生する場所
- 有機溶剤やスプレーを使う場所
- 腐蝕性ガスの発生する場所(温泉、プールなど)
- スチームサウナ付浴室

本体を断熱材で覆わないでください。
次のようなダクト配管工事はしないでください。

- 極端な曲げ
- 多数回の曲げ
- 接続ダクト径を極端に小さくする
- 排気口のすぐ近くでの曲げ



この製品は浴室の天井取り付け専用です。

標準適応サイズは1616サイズのユニットバスです。浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル張りの浴室、その他断熱が悪い場合、予備暖房・乾燥効果が減ります。

DVB-18SS₂は住宅の24時間常時換気システムとして使用できます。
その場合には、居室と浴室以外の部屋を隔てている建具の換気経路(有効開口面積で100~150cm²)を確保する必要があります。

雨水や鳥などの侵入を防ぐためのフード(システム部材)などを取り付けてください。

製品の取り付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

- 地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。
- 本製品は消防法基準適合品です。(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合してあります

取り付け方法

取り付け前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。

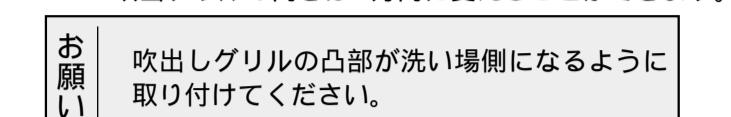
取り付け時、板金部品の端面で手を滑らせる手と手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。
製品を天吊りする場合は天吊補助枠DBT-18SS₂(別売)を購入し、取付方法は天吊補助枠の取付説明書で確認してください。

A 取り付け前の準備

- 本体の取付方向・位置を決めます。

本体取り付けの推奨位置は右図の通りです。

吹出グリルの向きは4方向に変えることができます。



お願い
吹出グリルの凸部が洗い場側になるように取り付けてください。

- 浴室の天井に410×285mmの開口部を設けます。

天井板が塗装鋼板の場合には、開口部に錆止め処理を施してください。

- 天井板に本体取り付け用下穴6カ所と排気口取り付け用下穴1カ所をあけます。

ユニットバス天井裏に1mm以上の厚みの金属補強材が取り付いている場合は天井板と金属補強材を下穴加工(3)し、天井板側に切りくずなどが残らないよう注意してください。

- 内寸が右図の寸法となるように天井補強材を設けます。

補強材は天井板を含め35mm以下としてください。

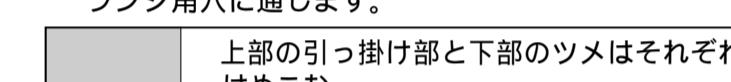
これ以上厚くなると、施工・メンテナンスができません。

お願い
製品の質量(6.3kg)に十分耐えるように、補強材は天井にしっかりと固定してください。

- 天吊補助枠「DBT-18SS₂(別売)」による取付方法は天吊補助枠の取付説明書をご覗ください。

1 排気口を天井板の下穴に合わせて付属のトラスタッピングねじ(1本、4×20)で固定します。

- 本体を開口部と排気口にそわせて水平に押し上げ、本体上面の溝と排気口の下部の引っ掛け部がはまり込むように本体を取り付けます。また、排気口の下部の爪(2カ所)を本体フランジ角穴に通します。



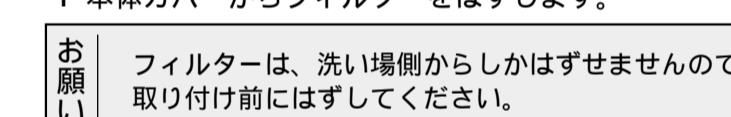
お願い
上部の引っ掛け部と下部のツメはそれぞれ確実にはめこむ

注意
本体との密着が確実でないと、湿気漏れや本体カバーと天井板の隙間の原因になります。
取り付けの際、リモコンコード類を挟みこまない

- 付属のシンワッシャーねじ(6本、4×40)で確実に固定します。

C 本体カバーの取り付け

- 本体カバーからフィルターをはずします。



お願い
フィルターは、洗い場側からしかはずせませんので取り付け前にはずしてください。

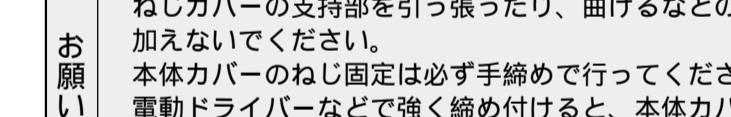
- 吹出グリルの凸部が洗い場側にならない場合は、吹出グリル凸部を洗い場側になるように取り付けてください。

- 本体カバーに付いているねじカバー(4個)をはずし、あらかじめ取り付いているトラス小ねじ(4本、M4×10L)で本体カバーを固定してください。



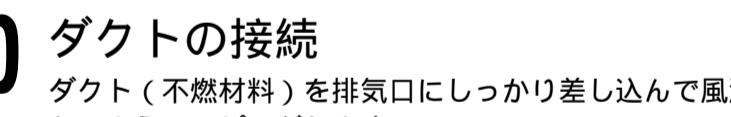
お願い
ねじカバーの支持部を引っ張ったり、曲げるなどの力を加えないでください。
本体カバーのねじ固定は必ず手締めで行ってください。
電動ドライバーなどで強く締め付けると、本体カバーが割れることができます。

- フィルターを洗い場側から差し込みます。



D ダクトの接続

ダクト(不燃材料)を排気口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピングします。



お願い
ダクトは室外側を下げて取り付けてください。
(勾配1/100~1/100)

ダクトは排気口に力が加わらないようにしてください。
ダクト配管工事は管工事業者へ依頼してください。

E 電源の接続

警告 電源は単相AC100Vを使用する

電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、電気工事士が行う

アース工事は3種接地工事に基づいて確実に行う

電源電線は専用の分岐ブレーカー(20A)により配線する

アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける

専用の漏電遮断器を設置の場合は、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下)のものを選びください。

天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付けに行なうか、あらかじめ点検口附近まで配線を行ってください。

お願い
天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付けに行なうか、あらかじめ点検口附近まで配線を行ってください。

お願い
専用の漏電遮断器を設置の